



2023年1月31日

各位

会社名 株式会社ジェイテックコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 津村 尚史
(コード番号：3446 東証プライム)
問合せ先 取締役管理部長 平井 靖人
(TEL. 072-655-2785)

2023年6月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年1月31日開催の取締役会において、2022年8月12日に公表しました2023年6月期第2四半期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年6月期第2四半期連結業績予想値の修正（2022年7月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	729	△55	△57	△47	△8.19
今回修正予想 (B)	525	△120	△119	△94	△16.09
増減額 (B - A)	△204	△65	△61	△46	
増減率 (%)	△28.0	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年6月期第2四半期)	339	△231	△234	△169	△28.98

(ご参考) 2023年6月期第2四半期連結セグメント別売上高予想値の修正

(2022年7月1日～2022年12月31日)

	オプティカル 事業	ライフサイエンス・ 機器開発事業	その他事業 (電子科学)	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	530	11	188	729
今回修正予想 (B)	313	18	193	525
増減額 (B - A)	△217	7	5	△204
増減率 (%)	△41.0	67.5	3.0	△28.0
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年6月期第2四半期)	189	117	33	339

2. 業績予想修正の理由

今回、オプティカル事業における売上実績が予想値を下回ったことが主な要因で業績予想の修正を行うこととなりました。

販売費及び一般管理費項目・営業外損益項目につきましては、大半の項目が固定費であり前回発表時点からの大きな乖離は無いため、業績予想の修正要因となったオプティカル事業における売上高について説明いたします。

<オプティカル事業>

X線ナノ集光ミラーの主な販売先である国内外の放射光施設やX線自由電子レーザー施設において、概ね通常稼働状態に戻っております。国内の次世代放射光施設 Nano Terasu をはじめ、中国及び欧米の放射光施設のバージョンアップや新設計画も順調に進んでおり、受注も順調に獲得している状況であります。

一方で、前期末時点においてコロナ禍の影響による輸入制限等、中国全土にて混乱が生じて多くの製品が納入できない状況となっております。第2四半期において解消が進みましたが、一部まだ納入ができていない状況であります。

また、アメリカ向けにおいても同様に、前期末時点で急な仕様変更依頼に応じて納品にまで至らなかった製品について、第2四半期において解消が進んだものの、一部まだ納入ができていない状況であります。

これらにつきまして、第3四半期中には全て解消する見込みではありますが、第2四半期時点において解消が遅れたことが要因で売上実績が予想値よりも下回る結果となりました。

なお、通期の業績見込みにつきまして、次世代研磨装置の開発機の受注等もあり大きな影響はないと見込んでいるため、2023年6月期の通期連結業績予想は2022年8月12日公表の予想値から変更しておりません。また、公表すべき事案が生じた場合は、速やかに開示を行ってまいります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上